



第12回  
子ども市議会



平成26年 7月25日  
開会





別府市議会議長

吉 富 英 三 郎

## 子ども市議会を終えて

平成15年より開催いたしております「べっぷ子ども市議会」も、今回で12回目を迎えました。

この子ども市議会も子どもたちと共に成長してきたように感じております。

子どもたちの生まれ育ったふるさと別府は、市制90周年の長い歴史の中で、多くの市民の方々のたゆまぬ努力により今日の発展を築いてきました。

今回、子ども市議会議員として、どうしたら皆が幸せに暮らせるのかを考え、10年後、20年後の別府の未来を思い描くのにふさわしい経験であったと思います。

夢を持つということから明るい未来が開かれますし、その夢をかなえられる社会を実現することこそが、今の私たち大人に与えられた使命であると考えています。

結びになりましたが、子ども市議会の開催にあたり、ご協力をいただきました各小中学校の先生方、別府市PTA連合会、別府市子ども会育成会連合会の皆様方に対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。



別 府 市 長

浜 田 博

## 将来の別府を担う 子ども市議会

第12回を迎えました小学生と中学生の議員による「べっぷ子ども市議会」は、子ども達の広い視野と感性豊かな質問・提言により、素晴らしい成果をあげることができました。

また、ふるさと別府を美しく笑顔あふれる街にしたいとの気持ちを込めた「誇れるふるさと別府を私たちが」という、暖かく力強い宣言をいただき私自身も心を新たにしているところです。

子ども達の愛情と決意あふれる宣言に、私たちは、子ども達に負けない信念をもって、未来に明るい夢と希望の持てるまちづくりを進めていかなければならないと強く心に刻むことができました。

終わりに、「べっぷ子ども市議会」の開催にご尽力いただきました先生方をはじめ、保護者の方々、関係者の皆様方に心から感謝の意を表しますとともに、次世代を担う子どもたちの大いなる飛躍をお祈り申し上げます。

## 議長



加藤 美月 議員  
(中部中 3年)

## 副議長



高橋 萌衣 議員  
(青山中 3年)

## 一般質問



山本 恵未 議員  
(大平山小 6年)



時枝 美早紀 議員  
(別府中央小 6年)



神取 慧華 議員  
(上人小 6年)



高瀬 真美子 議員  
(西小 6年)



白石 ひかる 議員  
(石垣小 6年)



丸井 彩夏 議員  
(春木川小 6年)



徳永 眞子 議員  
(鶴見小 6年)



大海 駿介 議員  
(境川小 6年)



小畑 堅太郎 議員  
(亀川小 6年)



小関 晃太郎 議員  
(南立石小6年)



姫野 聖大 議員  
(緑丘小6年)



藤本 陽 議員  
(南小6年)



秦 史弥 議員  
(朝日小6年)



木山 倫太郎 議員  
(青山小6年)



田中 愛梨 議員  
(東山小6年)

## 提 言

## 子ども宣言



西牟田 奈菜美 議員  
(北部中2年)



久木原 萌花 議員  
(東山中1年)



中村 美奈 議員  
(朝日中3年)

## 謝 辞



山川 雅 議員  
(山の手中2年)



福山 美羽 議員  
(浜脇中2年)



安部 瑛士 議員  
(鶴見台中2年)

第12回「べっぷ子ども市議会」会議録 目次

・会期	1
・会期日程表	1
・子ども議員提出議案議決結果	1
・一般質問者一覧表	1
・提言者一覧表	3
・出席議員	5
・欠席議員	6
・説明のための出席者	6
・主催者等出席者	6
・議会事務局出席者	7
・議事日程（第1号）	7
・本日の会議に付した事件	7

[ 開 会 式 ] 目次

・開 会	9
・主催者紹介	9
・議長あいさつ	9
・閉 会	11
・子ども議長、子ども副議長紹介	11
・出席議員数の報告	11

○第1号（7月25日・金曜日）

・開 会	-----	11
・議席の指定	-----	12
・会議録署名議員の指名	-----	13
・会期の決定	-----	14
・一般質問	-----	13
	質問者・山 本 恵 未 議員	13
	答弁者・大 野 光 章 ONSENツアーズム部長	14
	浜 田 博 市長	14
	質問者・時 枝 美早紀 議員	14
	答弁者・浜 口 善 友 生活環境部長	15
	浜 田 博 市長	15
	質問者・神 取 慧 華 議員	16
	答弁者・湊 博 秋 福祉保健部長	16
	浜 田 博 市長	17
	質問者・高 瀬 真美子 議員	18
	答弁者・寺 岡 悌 二 教育長	19
	浜 田 博 市長	19
	質問者・白 石 ひかる 議員	20
	答弁者・寺 岡 悌 二 教育長	20
	浜 田 博 市長	21
	質問者・丸 井 彩 夏 議員	21
	答弁者・岩 田 弘 建設部長	22
	浜 田 博 市長	22

質問者・徳永眞子	議員	-----	23
答弁者・釜堀秀樹	企画部長	-----	24
浜田博	市長	-----	24
(休憩・再開)		-----	25
質問者・大海駿介	議員	-----	25
答弁者・岩田弘	建設部長	-----	25
浜田博	市長	-----	26
質問者・小畑堅太郎	議員	-----	26
答弁者・寺岡悌二	教育長	-----	27
浜田博	市長	-----	27
質問者・小関晃太郎	議員	-----	28
答弁者・寺岡悌二	教育長	-----	28
浜田博	市長	-----	29
質問者・姫野聖大	議員	-----	29
答弁者・岩田弘	建設部長	-----	30
浜田博	市長	-----	30
質問者・藤本陽	議員	-----	31
答弁者・釜堀秀樹	企画部長	-----	32
浜田博	市長	-----	33

	質問者・秦	史 弥	議員	-----	33
	答弁者・湊	博 秋	福祉保健部長	----	34
		浜 田	博 市長	-----	35
	質問者・木	山 倫太朗	議員	-----	35
	答弁者・大	野 光 章	ONSENツリズム部長	---	36
		浜 田	博 市長	-----	36
	質問者・田	中 愛 梨	議員	-----	37
	答弁者・寺	岡 悌 二	教育長	-----	37
		浜 田	博 市長	-----	38
	(休憩・再開)			-----	38
・提言の発表	提言者・西牟田	奈菜美	議員	-----	39
	答弁者・浜	田	博 市長	-----	39
	提言者・久木原	萌 花	議員	-----	40
	答弁者・浜	田	博 市長	-----	40
	提言者・山	川	雅 議員	-----	41
	答弁者・浜	田	博 市長	-----	42
	提言者・福	山 美 羽	議員	-----	42
	答弁者・浜	田	博 市長	-----	43

- ・ 議員提出議案第 1 号子ども宣言について、上程----- 43
- ・ 提案理由説明-----中 村 美 奈 議員----- 43
- ・ 表 決----- 44
- ・ 閉 会----- 44

[ 閉 会 式 ] 目 次

- ・ 開 会----- 45
- ・ 市長あいさつ-----浜 田 博 市長----- 45
- ・ 記念品の贈呈-----寺 岡 悌 二 教育長----- 46
- ・ 子ども議員代表者謝辞-----安 部 瑛 士 議員----- 46
- ・ 閉 会----- 47



## 第12回「べっぷ子ども市議会」会議録

---

○会 期 平成26年 7月25日(1日)

---

### ○会期日程表

平成26年 7月25日(金) 本会議 議席の指定、会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問、提言、子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

---

### ○子ども議員提出議案議決結果

子ども議員提出議案第1号「誇れるふるさと別府を私たちで」子ども宣言について  
平成26年 7月25日 原案可決

---

### ○一般質問者一覧表

質問 順位	質 問 議 員	質 問 項 目
1	13番議員 大平山小学校 山 本 恵 未	別府のよさを体験しやすい条件整備と 小学校からの発信について
2	15番議員 別府中央小学校 時 枝 美早紀	別府の自然を見直すことについて
3	8番議員 上人小学校 神 取 慧 華	別府市にあるボランティア団体と 活動について
4	3番議員 西小学校 高 瀬 真美子	土曜授業について

5	10番議員 石垣小学校 白石 ひかる	授業でのタブレット導入について
6	11番議員 春木川小学校 丸井 彩夏	私たちが安心して遊べる場所について
7	6番議員 鶴見小学校 徳永 眞子	別府市の防災について
8	1番議員 境川小学校 大海 駿介	境川の環境について
9	7番議員 亀川小学校 小畑 堅太郎	A P Uの学生さんとの交流について
10	5番議員 南立石小学校 小関 晃太郎	外国から来た友だちのことについて
11	12番議員 緑丘小学校 姫野 聖大	自転車が通行する場所の整備について
12	2番議員 南小学校 藤本 陽	人の困りに気づき、その人の「笑顔や本気をあふれさせる」ために何ができるのか
13	9番議員 朝日小学校 秦 史弥	100円バスの運行実現について

14	4番議員 青山小学校 木山倫太郎	温泉施設を増やすことについて
15	14番議員 東山小学校 田中愛梨	小学生と高齢者の交流を図る取組みについて

○提言者一覧表

提言 順位	提言議員	提言内容
1	17番議員 北部中学校 西牟田 奈菜美	ポイ捨てのないまちづくりについて
2	19番議員 東山中学校 久木原 萌花	積雪被害での体育館使用禁止を通して
3	16番議員 山の手中学校 山川 雅	近所同士の関わりについて
4	18番議員 浜脇中学校 福山美羽	より過ごしやすい学校環境にするために



## 第12回「べっぷ子ども市議会」会議録（第1号）

平成26年7月25日

○出席議員（23名）

1番議員	境川小学校	大海駿介君
2番議員	南小学校	藤本陽君
3番議員	西小学校	高瀬真美子さん
4番議員	青山小学校	木山倫太郎君
5番議員	南立石小学校	小関晃太郎君
6番議員	鶴見小学校	徳永眞子さん
7番議員	亀川小学校	小畑堅太郎君
8番議員	上人小学校	神取慧華さん
9番議員	朝日小学校	秦史弥君
10番議員	石垣小学校	白石ひかるさん
11番議員	春木川小学校	丸井彩夏さん
12番議員	緑丘小学校	姫野聖大君
13番議員	大平山小学校	山本恵未さん
14番議員	東山小学校	田中愛梨さん
15番議員	別府中央小学校	時枝美早紀さん
16番議員	山の手中学校	山川雅さん
17番議員	北部中学校	西牟田奈菜美さん
18番議員	浜脇中学校	福山美羽さん
19番議員	東山中学校	久木原萌花さん
20番議員	鶴見台中学校	安部瑛士君
21番議員	朝日中学校	中村美奈さん
22番議員	青山中学校	高橋萌衣さん
23番議員	中部中学校	加藤美月さん

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

市 長	浜 田 博 君	副 市 長	中 尾 薫 君
教 育 長	寺 岡 悌 二 君	水道企業管理者	永 井 正 之 君
総 務 部 長	伊 藤 慶 典 君	企 画 部 長	釜 堀 秀 樹 君
ONSENツリズム部長	大 野 光 章 君	建 設 部 長	岩 田 弘 君
生活環境部長	浜 口 善 友 君	福 祉 保 健 部 長	湊 博 秋 君
消 防 長	笠 置 高 明 君	教 育 次 長	豊 永 健 司 君
学校教育課長	篠 田 誠 君		

○主催者等出席者

別 府 市 議 会 議 長	吉 富 英三郎 君
別府市議会子ども会を支える 議 員 連 盟 副 会 長	永 井 正 君
別 府 市 子 ども 会 育 成 会 連 合 会 会 長	池 辺 栄 治 君
別府市PTA連合会副会長	古 庄 由 紀 君
別 府 市 議 会 副 議 長	穴 井 宏 二 君
別府市議会子ども会を支える 議 員 連 盟 事 務 局 長	猿 渡 久 子 君
別府市議会子ども会を支える 議 員 連 盟 事 務 局 理 事	市 原 隆 生 君
別府市議会子ども会を支える 議 員 連 盟	荒 金 卓 雄 君
別府市議会子ども会を支える 議 員 連 盟	野 上 泰 生 君

○議会事務局出席者

局	長	檜垣伸晶	参	事	宮森久住
次	長	浜崎憲幸	次	長	河野伸久
主	幹	吉田悠子	主	査	溝部進一
主	査	波多野博	主	任	甲斐健太郎
主	事	穴井寛子			

○議事日程（第1号）

平成26年7月25日（金曜日） 午後1時40分開議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 一般質問

第5 提言

第6 子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

○本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6（議事日程に同じ）



○市議会事務局長（檜垣伸晶君） 皆さん、こんにちは。

開会式に先立ちまして、子ども議員皆さんの記録用写真を撮影しますので、子ども議員の皆さん方は、議長席の方を見てください。

傍聴席の皆さま並びに主催者の皆さま方は、恐れ入りますが、しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

[ 写 真 撮 影 ]

ご協力ありがとうございました。

それでは、ただ今から、第12回「べっぷ子ども市議会」開会式をとり行います。

はじめに、主催者並びに関係者の皆さまをご紹介します。

浜田 博 別府市長です。

中尾 薫 副市長です。

寺岡悌二 教育長です。

永井正之 水道企業管理者です。

2列目、3列目の方々は、本日答弁をしていただきます部長の皆様方です。

吉富英三郎 別府市議会議長です。

永井 正 別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長です。

池辺栄治 別府市子ども会育成会連合会会長です。

古庄由紀 別府市PTA連合会副会長です。

穴井宏二 別府市議会副議長です。

別府市議会子ども会を支える議員連盟事務局長の猿渡久子議員です。

同じく理事の市原隆生議員です。

同じく議員連盟の荒金卓雄議員です。

同じく議員連盟の野上泰生議員です。

以上の方々を代表し、吉富英三郎 別府市議会議長より、皆さんにごあいさついたします。

○市議会議長（吉富英三郎君） 皆さん、こんにちは。

緊張していますか。緊張するなというのは無理だと思います。緊張して結構です。ただし、緊張すると人間はその場から少しでも早く立ち去りたいとか、

少しでも早くその場を終わらせたいと、例えば読むとき早口になってしまいます。ですから、もし自分は緊張していないと思っても日頃よりはゆっくりと話すように心がけてください。

きょうの皆さん方の質問・提言、私どももとても楽しみにしております。それと実はあと2つ、楽しみにしていることがあります。

1つは、先ほど紹介がありました浜田市長をはじめとする執行部の方々が、皆さんの質問に対してどのような答弁をするのかということも大変楽しみにしております。

皆さん方は子ども議員として、皆さんのお友達や地域の方々から、いろいろな話を聞いたり勉強もしていると思います。皆さんが、自分の目で見て聞いて、そして考えたことを、日頃思っていたこと、不思議に思ったこと、疑問に思っていたこと、そういうことをしっかりと一般質問の中で言っていただけであればいいのかなと思っております。

きょう皆さん方が、この子ども議会の議員として発表するにあたりましては、日頃私どものお手伝いをしていただいております議会事務局の職員をはじめとする多くの方々が、皆さんの縁の下の力もちとして頑張っていただいております。そういう方々へも感謝の気持ちも決して忘れないようにしてください。

最後、もう1つの楽しみですが、皆さん方が大人の階段を一步一步上っていく中で、いろいろ辛いこと苦しいことがあると思います。この子ども市議会で議員として発言をしたんだという自信は、これから先いろんな場面で成長するためにプラスになると思います。私たちは、皆さんが生まれ育ったこのすばらしい別府が、皆さんの力で将来にわたりもっともっと素晴らしい別府になるように期待をしています。リーダーシップのとれる大人になっていただきたい。また、まちづくりに対して提言のできる大人になっていただきたい、そういう楽しみが将来に向けて私どもはもっております。

きょうの子ども市議会、皆さん方の意見・要望を私どもも一生懸命、原点に戻って考えていきたい、このように思っています。

結びにあたり、本日の子ども市議会開会にあたりまして、ご協力をいただきました各小中学校の先生方、子ども会育成会連合会の皆様、PTA連合会の皆

様、関係各位に心から感謝申し上げまして、開会の挨拶といたします。

最後まで頑張ってください。

○市議会事務局長（檜垣伸晶君） ありがとうございます。

以上をもちまして、開会式を終了いたします。

続きまして、子ども市議会の議長及び副議長の選出については、あらかじめ決定されておりますので、ご紹介させていただきます。

議長は、中部中学校の加藤美月さんです。

加藤さんは、議長席までお越してください。

続きまして、副議長は青山中学校の高橋萌衣さんです。

高橋さんは副議長席までお越してください。

それでは、議長と副議長が席に着かれたので、加藤議長よろしく願いいたします。

---

午後 1 時40分 開会

○議長（加藤美月さん） 皆さん、こんにちは。

先ほどご紹介をいただきました、議長の中部中学校 加藤美月と、副議長の青山中学校 高橋萌衣さんです。

わたしたちのまち別府が、希望に満ちた、住みよいまちになるように、きょうの子ども市議会をがんばりたいと思いますので、子ども議員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、本日は、市長さん、市議会議長さんをはじめ多くの関係者の皆さんにご出席をいただき、ありがとうございました。

それでは、ただいまより、子ども市議会を開会いたしたいと思いますので、出席議員数の報告をお願いします。

○市議会事務局（穴井寛子君） 人員のご報告を申し上げます。議員定数23名、現在員23名であります。

○議長（加藤美月さん） 第12回「べっぷ子ども市議会」は成立いたしました。

これより会議を開きます。

本日の議事は、「議事日程第1号」により行います。

日程第1により、議席の指定を行います。

議席は、議長において指定いたします。

議席番号と氏名を職員の方に読み上げていただきます。

○市議会事務局（穴井寛子君） それでは、議席番号と氏名を読み上げますので、呼ばれた方は「はい」と返事をし、その場でご起立を願います。

1番議員	境川小学校	大海駿介君
2番議員	南小学校	藤本陽君
3番議員	西小学校	高瀬真美子さん
4番議員	青山小学校	木山倫太郎君
5番議員	南立石小学校	小関晃太郎君
6番議員	鶴見小学校	徳永眞子さん
7番議員	亀川小学校	小畑堅太郎君
8番議員	上人小学校	神取慧華さん
9番議員	朝日小学校	秦史弥君
10番議員	石垣小学校	白石ひかるさん
11番議員	春木川小学校	丸井彩夏さん
12番議員	緑丘小学校	姫野聖大君
13番議員	大平山小学校	山本恵未さん
14番議員	東山小学校	田中愛梨さん
15番議員	別府中央小学校	時枝美早紀さん
16番議員	山の手中学校	山川雅さん
17番議員	北部中学校	西牟田奈菜美さん
18番議員	浜脇中学校	福山美羽さん
19番議員	東山中学校	久木原萌花さん
20番議員	鶴見台中学校	安部瑛士君
21番議員	朝日中学校	中村美奈さん
22番議員	青山中学校	高橋萌衣さん
23番議員	中部中学校	加藤美月さん

○議長（加藤美月さん） ただいま、読み上げていただいたとおり、議席を指定いたします。

次に、日程第2により、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、

3番 高瀬 真美子 さん

11番 丸井 彩夏 さん

以上、2名の方々をお願いいたします。

次に、日程第3により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

子ども市議会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（加藤美月さん） ご異議なしと認めます。

よって、子ども市議会の会期は、本日1日と決定いたしました。

次に、日程第4により一般質問を行います。一般質問者は15名です。質問順位により一般質問を行います。

最初に、13番議員、大平山小学校の山本恵未さんの一般質問をお願いいたします。

[13番議員 山本恵未さん、登壇]

○13番議員（山本恵未さん） 私たちのまち別府は、観光都市として有名です。

別府に来てくれたお客さんの多くが地獄めぐりをするとおもいます。地獄蒸しもあります。最近では砂湯の人気が高いとも聞きました。

ところが、学校で周りの友達に聞いてみると、これらを体験したことがない人がほとんどです。地獄めぐりについては、学校の校外活動でいくつかは行きましたが、全部回ったことがある人はあまりいません。

そこで、地元に住む私たちが、もっと別府の良さを体験できるような機会があればよいと考えました。例えば、別府市内の小学生の希望者を対象に、地獄めぐりツアーや観光スポット体験教室のようなものはできないでしょうか。さらに、そのような体験を通して知った別府の魅力を、私達小学生の力でCMを

作り、発信できたらすてきだなとも考えました。おんせん県大分のようなCMを別府でも作ってみたいのですが、可能でしょうか。教えてください。よろしくをお願いします。

○議長（加藤美月さん） O N S E N ツーリズム部長

○O N S E N ツーリズム部長（大野光章君） お答えいたします。

現在、別府市では「別府っ子観光授業」を実施しており、皆さんの学校に別府市の職員や観光関係者の方がうかがって、別府の観光について学び、興味を持っていただく取り組みを行っています。

この「別府っ子観光授業」は、まさに山本議員が提案されたような観光に関するアイデアをどんどん出してくれる生徒さんが増え、やがて別府の観光<sup>にな</sup>を担う人材になってくれることを目指して取り組んでいます。

山本議員の提案を元に、より<sup>じっせんてき</sup>実践的な取り組みができるよう取り組んでまいります。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 山本恵未議員のご質問にお答えいたします。

別府の良さを体験し、その情報を発信したいという山本議員の別府を思う意気込みに大変感動しました。

自分が実際に体験したことは、体験したことのない人に比べよりリアルに伝えることができますから、この提案については本当にありがたいと思います。そして、それをCMにすれば、さらに面白い発信ができることでしょう。

今回のご意見を参考に、皆さんの力をもっと活用できないか、検討していきたいと思います。それと同時に、いつまでもふるさと別府に興味を持ち、PRしたいという気持ちをいつまでも持ち続けていただきたいと思います。

貴重なご質問、ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 山本さん。

○13番議員（山本恵未さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（加藤美月さん） 次に、15番議員、別府中央小学校の時枝美早紀さんの一般質問をお願いいたします。

[15番議員 時枝美早紀さん、登壇]

○15番議員（時枝美早紀さん） 別府は、山と海に囲まれ、中心部に大きな公園があり、市街地に桜並木が点在する自然豊かな街だと思います。海岸線も国の事業により、昔ながらの砂浜に生まれ変わり、北浜のヨットハーバーも整備され、その近くには芝生広場も誕生しました。私は緑があって、海や砂浜のある自然豊かなこの別府が大好きです。

「東洋のナポリ」と称されている別府の海からのながめの美しさは世界に誇ってもいいものだと思います。

しかし、学校の横にあるスパビーチをそうじするたびにゴミの投げ捨てなどによる自然環境破壊が気になります。そこで、質問が2つあります。まず、この恵まれた自然環境を別府市はどのように活用しようと考えていますか。

また、このような別府市の自然を壊す環境問題についてどんな対策を考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

○議長（加藤美月さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（浜口善友君） お答えいたします。

時枝議員のおっしゃるとおり、別府市は、西は由布・鶴見をはじめとする山々に、東は別府湾に囲まれ、さらに、「温泉、ゆけむり」という豊かな自然を有しております。

まず、「この恵まれた自然環境をどのように活用するのか」との最初の質問ではありますが、別府は何と言っても「温泉」であります。この温泉をエネルギーに活用するなどの方法を考えているところであります。

次に、2点目の自然環境を守る対策についての質問ではありますが、自然環境や自然の資源を活用することは望ましいのですが、利用に当たっては、ルールやマナーを守っていくことが非常に大切だと思っております。「乱開発によって、将来温泉が使えなくなる」、このようなことのないよう、しっかりルールを作っていきたいと考えております。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 時枝美早紀議員のご質問にお答えいたします。

別府市には、恵まれた自然がたくさんあります。また、地熱発電というのは別府が発祥の地です。その中で、鉄輪、小倉、竹の内、堀田、火売などで高

温高压の泉源を利用した温泉熱発電が民間事業者の皆さんの主導で進められています。

そして、今年に入り、太陽光発電を立地する動きも本格化しています。エネルギーの計画を作るに当たっては、地域資源に影響があると心配されるため環境保全の観点も盛り込んでいきたいと考えています。

環境問題対策については、「別府市環境基本計画」において目標とする自然・湯けむり・おもてなしが築く「環境みらい都市・別府」の実現に向けて、市民、事業者、市がそれぞれの役割と責任のもと、ともに協力して行動する体制を構築こうちくしたいと考えております。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 時枝さん。

○15番議員（時枝美早紀さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（加藤美月さん） 次に、8番議員、上人小学校の神取慧華さんの一般質問をお願いいたします。

[8番議員 神取慧華さん、登壇]

○8番議員（神取慧華さん） 私は小学校のユニセフぼきん活動を知ってボランティアに興味を持ちました。まず、私なりにユニセフについて調べてみました。世界には学校に行けない子どもたちが7,200万人もいるそうです。家庭が貧しく、仕事を手伝わなければならなかったり、設備がととのっていなかったりとたくさん理由がありました。おどろいたことはそれだけではありませんでした。池や川の水にバイ菌がいて、安全でない水をそのまま飲んでしまい病気になってしまうことも知りました。このように、困っている人たちのことを知り、私もいつかユニセフ活動に参加したいと思いました。しかし、実際に現地へ行って活動をする事はできないので、今自分ができる事をしようと思っています。

そこで質問です。別府市がかかわっているボランティアで世界の困っている子どもたちのために私たちにできる活動があれば教えてください。

○議長（加藤美月さん） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（湊 博秋君） お答えいたします。

別府市にはどのようなボランティア活動があるのでしょうかというご質問で

すが、最もたくさんの方が参加するものとしては、6月の環境月間に実施される「町内一斉清掃」があります。それぞれの町内の道路や河川敷<sup>かせんじき</sup>などの清掃を行います。今年度の実績では129町、10,839人の参加がありました。この外にも、年間を通して海岸線の清掃や、別府駅周辺の清掃活動などに、多くのボランティアの人たちが参加していただいています。

別府市においては、社会福祉協議会がボランティアの登録を受け付けていますが、今年3月末では62の団体、及び個人で2,181人の方が登録していただいています。

また、世界の困っている子どもたちのためにできる活動の一つとして神取議員がおっしゃられるユニセフの活動があります。これは、世界中の子どもたちの命と健康を守るための国連機関で、その活動の主な資金として世界中の皆さんから寄せられる募金<sup>ぼきん</sup>により活動が支えられています。

そのほか、世界中のボランティア団体が、皆さまから送られてきた中古衣料、使用済切手、書き損じ<sup>そん</sup>ハガキ、ペットボトルキャップなどを収集し、換金した収益金<sup>しゅうえき</sup>によって、発展途上国の子ども達の教育、文化、医療、栄養改善などに役立てる活動が行われています。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 神取慧華議員の質問にお答えします。

神取議員がさきほど言われたように、家庭が貧しくて学校に行けない、安全でない汚れた水を飲んでいるなど、とても困っている世界の子どもたちを心配し、何か自分でも役に立ちたいと思うことは、大変、温かく優しい心の表れだと思いますし、それは、世界の人々がお互いに助け合うためにすばらしく、とても大切な精神だと思います。

ボランティアは今部長が答えましたように、いろんな種類がありますが、ボランティアの重要性を多くの方が認識するのは、災害ボランティアの活動ではないかと思います。

3年前の東日本大震災では、本当に日本人のすばらしさ、助け合う気持ちが見えました。また、一昨年<sup>ごう</sup>の北部九州豪雨の後に、多くのボランティアの方が自分の仕事を休んでまで、がれきの片づけや、炊き出し<sup>た</sup>の準備などの作業を、

一生懸命行っている姿は、多くの方々に感動を与えました。

神取議員は、いずれはユニセフ活動に参加し、世界中の困っている子どもたちのために役に立ちたいということですが、本当に素晴らしいことだと思います。まだ小学生であり、体力がいる危険な作業は無理だと思いますが、清掃ボランティアはできると思います。市民一斉清掃をしたり、海岸清掃をしたり、市民の方には一生懸命していただいています。ぜひ、これからは、清掃ボランティアなど、今できる活動に参加されることが良いと思います。

地域の皆さんと清掃活動に取り組み、きれいな街づくりをすることによって、きっとさわやかな気持ちになれるのではないのでしょうか。

そのことが、いつか世界中の困った人々の幸せにつながっていくものと信じていますので、ぜひ、今の気持ちを持ち続けていただきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 神取さん。

○8番議員（神取慧華さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（加藤美月さん） 次に、3番議員、西小学校の高瀬真美子さんの一般質問をお願いいたします。

[3番議員 高瀬真美子さん、登壇]

○3番議員（高瀬真美子さん） ニュースや先生の話聞いて、土曜日に学校があるようになるということを知りました。正直、土曜日にまで授業があると聞いたときは、単純に「えー、いやだなあ」と思い、先生や親と話をしました。そこで、たくさんの心配なことや不安なことが出てきたので質問させていただきます。

まず、以前のように毎週土曜日が授業をする日になりますか。土曜日授業が入ることによって他の曜日の授業時間が変わりますか。スポーツの大会や習い事など、土日に行われているものはどうなっていくのでしょうか。

観光についても心配なことがあります。私はこれまで土日を利用して家族で遊びに行ったり旅行したりしていました。別府市は観光の町で、土曜日にもたくさんの方々に来ていたと思うのですが、家族旅行の人数が減っていき、別府の観光に支障はでないのでしょうか。

いいこともたくさんあると思いますが、いろいろと心配です。大きく2点について教えてください。よろしくお願いします。

○議長（加藤美月さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） 高瀬議員の最初のご質問にお答えします。

別府市教育委員会では、小学校、中学校とも、年間4、5回程度、土曜日に授業をすることを考えています。また、他の曜日の授業時間を変えることは考えておりません。

内容については、保護者の方が学校に来やすいよう、土曜日に参観日を設けたり、地域の方を学校に招いて活動をしたりすることが考えられます。そして、皆さんの学校での姿を地域の方々に見てもらったり、地域の方々の力を借りたりして、皆さんの力を伸ばしたいと考えています。

しかし、高瀬議員のおっしゃるとおり、これまで土曜日は、多くの方々が、スポーツや習い事などの様々な活動によって皆さんの成長を支えております。これらの活動によって得られるいろいろな経験は、皆さんが大人になる上で、とても大切な財産となると考えており、大変感謝しているところです。

ですから、別府市教育委員会としましては、これまでの土曜日の活動に影響が出ないように配慮をしていくつもりです。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 高瀬真美子議員の2つめのご質問にお答えします。

別府市の小学生の中に、土曜日授業による別府観光への影響まで考えている人がいることがわかり、大変心強く思っています。

ご指摘の件は、影響の出ないようにこれから市や観光関係者と一体となって取り組んでまいりたいと思います。また、国も8月に山の日を制定するなど連休の取りやすい環境づくりに取り組んでいただいていますので、こういったプラスの動きも最大限活用していきたいと考えています。

そして、何より別府市のことを気にかけてくれた高瀬議員の別府観光を思う気持ちに感動いたしました。いつまでも大切にさせていただきたいと思います。

貴重なご質問、ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 高瀬さん。

○3番議員（高瀬真美子さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（加藤美月さん） 次に、10番議員、石垣小学校の白石ひかるさんの一般質問をお願いいたします。

[10番議員 白石ひかるさん、登壇]

○10番議員（白石ひかるさん） 私はテレビで、タブレットや電子黒板を使って授業をしている国や地域があるということを知りました。調べてみると、九州では、佐賀県の<sup>たけお</sup>武雄市立山内東小学校が、タブレットを授業に取り入れているということでした。

私が考えた、タブレットを授業に取り入れるよさは、学習で得たデータが簡単に残る点と、ノートなどに比べて、コンパクトという点です。一方、本体やデータがこわれる心配もあります。

このメリットもデメリットもあるタブレットを、別府市では、授業に取り入れようと考えていますか。教えてください。お願いします。

○議長（加藤美月さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

佐賀県<sup>たけお</sup>武雄市立山内東小学校では、タブレットを平成22年に40台、平成23年には196台を使用できるようにし、主に4年生から6年生までの児童の皆さんが、音楽や国語や保健の授業で使用していたと聞いています。

今年の4月からは、1年生から6年生までの児童全員がタブレットを使用しているそうです。このような話を聞くと、別府の児童生徒の皆さんも、タブレットを使った授業を受けてみたいという気持ちがよくわかります。

タブレットは、白石議員が言われたように、学習で得たデータを保存できる良さやノートに比べてコンパクト、そして電子黒板に送信できる良さなどのよい点があります。ただ、気になる点としては、やはり機械ですので壊れた時に保存したデータが消えてしまうおそれもあります。

しかし、これからますます進む情報社会を考えた時、将来を担う児童生徒の皆さんがタブレットなどに慣れ親しむことも重要なことと考えております。別府市教育委員会としましては、タブレットも含めた<sup>にな</sup>様々な情報機器について、その効果なども含めて十分調査していきたいと考えております。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 白石ひかる議員のご質問にお答えいたします。

私は、別府市の子どもたちに、スポーツや勉強に真剣に取り組み、いろんな体験活動を経験する中で豊かな感性を育み、心も体も健康でたくましく成長してほしいと願っています。

皆さんは、今学校で、木でできた机と椅子いすを使っていると思います。それは、豊かな感性を育てたいとの願いから、鉄などの金属とは違った自然のぬくもりを肌で感じられるようにと考え、取り入れたものです。

その一方で、タブレットなどの最先端の機器を活用することも大切だと思っております。いろいろな機械を扱うことで、人間の知恵や努力のすごさが伝わってきます。

別府市としましては、将来の別府市になを担う皆さんの成長を支えていけるよう教育委員会と十分協議してまいります。

今や、インターネットなどで世界中がつながり、様々な情報が瞬時しゅんじに入る時代です。それらの情報を上手あつかに扱い、自分の人生やみんなの社会をより豊かにして欲しいと願っております。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 白石さん。

○10番議員（白石ひかるさん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（加藤美月さん） 次に、11番議員、春木川小学校の丸井彩夏さんの一般質問をお願いいたします。

[11番議員 丸井彩夏さん、登壇]

○11番議員（丸井彩夏さん） 私は春木川小学校のすぐそばに住んでいます。春木川のほとりに家があります。春木川小学校のまわりはとても道路がせまく、住宅が立ち並んでいます。九州横断道路を渡った石垣校区には、広くて子どもが遊べる大きな公園がいくつかあります。しかし、私たちの住む春木川校区には、広い遊び場所が、小学校のグラウンドしかありません。そのグラウンドは、スポーツクラブの練習場所にもなっていて、いつでも使えるわけではありません。私たちの校区にも、子どもが安心して遊べる場所がほしいと思っています。し

かし、校区の様子を見ると、すでにそのような場所を確保できる大きな土地はありません。

そこで、私の家の前を流れる春木川をもっときれいにして、河川プールのように子どもが水遊びをしたり、川岸を整備してアスレチックゾーンを作ったり、サイクリングロードなどを作ったりできないかと考えました。

私たち春木川小学校は、毎年地域の方の協力も得て、秋に春木川清掃に取り組んでいます。まだまだ、きれいな川だとは言えませんが、学校の名前にもなっているこの春木川が子どもからお年寄りまで誰もが行きたくなる憩いの場所になるといいなと思います。そういう整備をしていくことはできませんか。教えてください。お願いします。

○議長（加藤美月さん） 建設部長。

○建設部長（岩田 弘君） お答えいたします。

丸井議員ご質問の春木川は、川の長さが6,225mあります。大雨の時に災害からみなさんを守るため、大分県が管理している重要な川で、広範囲から雨水などが流れ込んでいます。

春木川の現状を少しお話しますと、川幅が広いところで約35mとあまり広くなく、梅雨時や台風のほか突発的な集中豪雨などの時には川底から4m近く水かさが増すと予測されています。

今の春木川が現在の状態に整備され、その後大きな河川災害は発生していません。しかし、管理者である大分県別府土木事務所とも話をしてみましたが、やはり安全を考えると河川プールや、アスレチックゾーンの施設整備は簡単ではないようです。別府市としても広い遊び場所が少ないことは、たいへん残念なことですが、これだけ地域の皆様から愛されている川ですのでこれからも別府市と大分県、それと地元の方々と協力して、清掃活動などに力を入れていきたいと考えています。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 丸井彩夏議員のご質問にお答えいたします。

丸井議員さんのご質問は、春木川が子供からお年寄りまで誰もが行きたくなくなる憩いの場になれるような整備ができないかとの質問で、とても地区を思うや

さしい気持ちが伝わってきました。

春木川は地元の方々にとっても愛された河川で、春木川小学校の皆さんや地元の方々にも清掃や草刈りなどを行っていただいております、とても感謝しています。

丸井議員さんの質問の中で、河川プールやアスレチックゾーンなどとても素晴らしいアイデアで感心しました。友達と一緒に外で遊び、その遊びの中できまりやマナーや危険な行動を認識していく場は非常に大切です。春木川につきましては、これからも皆様と協力して親しまれるようにしていかなければならないと思います。

丸井議員をはじめ一人でも多くの方が川をきれいにしようと思う気持ちが一番大切です。きれいな春木川を守ってトンボやほたるが飛び交うような川にしていきましょう。

ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 丸井さん。

○11番議員（丸井彩夏さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（加藤美月さん） 次に、6番議員、鶴見小学校の徳永眞子さんの一般質問をお願いいたします。

[6番議員 徳永眞子さん、登壇]

○6番議員（徳永眞子さん） 東日本大震災があった2011年3月11日は私にとって忘れられない日です。私はその時東京に住んでいました。まだ学校にいた時間だったので防災頭巾をかぶり、机の下へもぐりました。突然の出来事でパニックになり記憶ははっきりしていませんが、先生はカーテンを閉めに行くために必死で歩き、その時、机の上に置いていた物が落ちてきたという事を覚えています。

この体験を通してそれまで本当に必要なのかと思っていたイスの後ろにかけてある防災頭巾は命にかかわる物なのだとわかりました。そして災害はいつ起こるかわからない事を身をもって学びました。

ところが別府では、防災頭巾を見たことがありません。これは身を守る大事な物です。東京ではもっと丈夫なヘルメットを導入する事になっています。

そこで質問です。別府市では防災頭巾を導入するなど防災についてどんなこ

とを計画していますか。教えてください。お願いします。

○議長（加藤美月さん） 企画部長。

○企画部長（釜堀秀樹君） お答えします。

学校における災害対策としましては、別府市内の全幼稚園・小中学校で、毎年地震避難訓練と火災避難訓練を実施しています。また全小中学校では、災害時に近隣住民が避難してきた場合に備え、災害用備蓄品を用意しています。本年度中には、別府市内のすべての小中学校で耐震化工事も終了する予定です。

徳永議員のおられる鶴見小学校では、飲料水兼用型耐震性貯水槽を完備しています。その容量は100トンで、1万人が3日分の飲料水を近隣住民に供給することができます。

今後の計画として、大分県が地震体験車の導入を予定していますので、防災教育の一環として、今年度より各小学校で地震体験車による体験を計画しています。また、今後、小学校高学年と中学生を対象にスクール救命士の養成も考えていきたいと思っております。

徳永議員ご提案の防災頭巾については、市内では一部の民間小学校が導入していると聞いております。今後、本市におきましても災害時の備えと防災意識の啓発の観点からも、防災頭巾の活用について内部で検討してみたいと考えます。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 徳永眞子議員のご質問にお答えいたします。

先ほど、企画部長が答弁した中で、地震体験車の話がありましたが、今年度は、鶴見小学校もその対象校になっているようですので、徳永議員も是非体験してみてください。

徳永議員には、東京の小学校での災害時の貴重な体験と防災頭巾の活用などをご紹介いただき、大変ありがとうございます。特に、防災頭巾については市としても何らかの形で導入していければと考えます。

徳永議員の災害に関する貴重なご意見、ご質問ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 徳永さん。

○6番議員（徳永眞子さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（加藤美月さん） 休憩いたします。

午後 2時28分 休憩

午後 2時40分 再開

○副議長（高橋萌衣さん） 再開いたします。

休憩前に引き続き、一般質問を行います。

1番議員、境川小学校の大海駿介君の一般質問をお願いいたします。

[1番議員 大海駿介君、登壇]

○1番議員（大海駿介君） ぼくは、境川の周辺で過ごす方々に対して優しい環境が整ってほしいと思っています。ぼくたちの校区にある境川は、地域の方々が散歩や集まる場所として利用することが多く、春には満開の桜の下で花見をする人がいたり、大きなこいのぼりが川の上を泳ぐ姿を見に来る人がいたりします。また、夏や冬の夜に花火が上がる日には、花火を見に来る人たちも多く集まります。

しかし、ゆっくり座ることができるベンチが少なく、お年寄りをはじめ、多くの方が不便そうにしているのを、サッカーの練習の行き帰りによく目にします。境川がもっと人にやさしい環境に近づくことができれば、さらに多くの方に境川に行きたいと思ってもらえると思います。ぼくも、清掃活動など協力できることをしていきたいと思っています。

そこで質問です。境川の環境整備のために、多くのベンチを川ぞいに置くなどの計画はありますか。教えてください。よろしくお願いします。

○副議長（高橋萌衣さん） 建設部長。

○建設部長（岩田 弘君） お答えいたします。

大海議員ご質問の境川小学校横の歩道は境川緑地と言います。この緑地はJR <sup>こうかせん</sup>高架線から消防署上の朝日橋まで、約1,300mあり川沿い<sup>ぞ</sup>を歩けるようになっております。大海議員のおっしゃるとおり境川小学校横の歩道にはベンチが数多くありません。

境川緑地には様々な利用方法があり、多くの市民の方に利用されておりますので、境川緑地の環境整備のためにも、ベンチの設置は必要だと考えております。

大海議員の境川を思う気持ちに込められるよう、今後とも整備をしていきたいと思ひます。

○副議長（高橋萌衣さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 大海駿介議員のご質問にお答えいたします。

境川小学校横の境川緑地は、春の花見や一気登山道になっておりますし、また、こいのぼり、納涼花火大会やべっぷクリスマス花火ファンタジアを見学する人もたくさんいます。朝夕の散歩などされる方もいますし、小さなお子さんからお年寄りまで多くの方々に利用されております。

大海議員のご質問のとおり、ゆっくりベンチに座ることができて、今以上にコミュニケーションの場となるように、境川の環境整備のため、できるだけ多くのベンチを川沿いに置くようにいたしたいと思ひます。

今後、人にやさしい気持ちを大切にしてください。

ご質問、ありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 大海君。

○1番議員（大海駿介君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（高橋萌衣さん） 次に、7番議員、亀川小学校の小畑堅太郎君の一般質問をお願いいたします。

[7番議員 小畑堅太郎君、登壇]

○7番議員（小畑堅太郎君） ぼくは、昨年、亀川小学校だけで行われたAPUの学生さんによる「放課後英語教室」に参加しました。そこでは、APUの学生さん達がわかりやすく、楽しく英語を教えてくださいました。

また、普段話す機会のない外国の学生さんと話すことができるととても良い経験ができました。ぼくが住んでいる亀川には外国の人がたくさん住んでいて、話しかけられることがよくありますが、これまで緊張してうまく話ができませんでした。けれど「放課後英語教室」に参加してその緊張が少しやわらぎました。それで、別府市内の全小学生が外国の人と英語に慣れるための機会がもっとあれば良いと思ひました。

そこで質問です。APUの学生さんなどによる「放課後英語教室」を別府市内の全ての小学校で行うことはできないでしょうか。教えてください。よろし

くお願いします。

○副議長（高橋萌衣さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えします。

昨年の6月から公民館子ども教室のひとつとして、APU学生ボランティアによる「楽しく学ぼう放課後英語教室」を亀川小学校の5年生と6年生を対象に実施いたしました。昨年度は、亀川小学校の他にも、上人小学校の5、6年生、春木川小学校3年生を対象に希望者を募り、「放課後英語教室」を実施いたしました。小畑議員の「放課後英語教室に参加して、外国人への緊張感が和らいだ」という感想をいただき、大変うれしく思います。

今年度は学生ボランティアの参加者数や日程調整の都合で、小学校を会場として実施することはできませんでしたが、各地区公民館では、留学生を含む大学生ボランティアの皆さんによる、英会話や国際交流の講座をたくさん行っています。

各小学校では、外国語指導助手、いわゆるALTが年間10日から15日ほど、高学年の「外国語活動」の時間等に授業をする機会もありますが、小畑議員の意見を伺い、もっとみなさんとの身近な交流の機会があったほうが良いと思いました。

大学や学生ボランティアのみなさん、そして学校や公民館など関係者が協力し合って、もっと英語が使える場面を増やせるようにしていきたいと思います。

○副議長（高橋萌衣さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 小畑堅太郎議員のご質問にお答えします。

APUの学生さんとの交流について質問をいただきました。亀川は、外国からの留学生がたくさん住んでいて、留学生から話しかけられる機会が多くあると思います。地域の皆さんからも「アニョハセヨー」とか「ニーハオ」とか「グッド・モーニング」とか会話の中で出ているというお話も聞きました。それだけ別府は国際都市になっていると思っております。別府市には3つの大学があり、約80の国と地域から約3,000人の留学生が別府に来ています。これは、留学生のみなさんとの交流によって、多くの国の文化にふれる貴重な機会を得ることができる、別府市の大きな利点だと思います。

小畑議員には、身近に留学生と交流する機会があったことによって、外国の方に対して緊張感が和らいだというご自身の経験から、もっと多くの人にもこのような機会をつくって英語や外国人に親しんでもらいたいというグローバルな視点のご意見をいただきました。

留学生のみなさんには、これまでも、積極的に市内で開催される行事や催しに参加していただいておりますが、多くの市民の皆様には是非このような催しにも参加していただき、国際交流の輪を広げてもらいたいと思います。

貴重なご質問をありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 小畑君。

○7番議員（小畑堅太郎君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（高橋萌衣さん） 次に、5番議員、南立石小学校の小関晃太郎君の一般質問をお願いいたします。

[5番議員 小関晃太郎君、登壇]

○5番議員（小関晃太郎君） 別府には、APUに留学してくる外国の人がたくさんいて、その人たちの子どもは別府市内の小学校に通っています。僕の学校にも外国から来た友だちがたくさんいて、その中の2人が僕の学年にいます。その2人の友だちは日本語が話せません。2人が来たばかりの頃は、なんとかなるだろうと思っていましたが、こちらの言いたいことを思い通りに伝えるのはとても難しいことでした。簡単なことならジェスチャーで分かりますが、少し難しいことになると通じません。

通訳の人が週に2日来てくれますが、学校にいる外国の友だち全員のところに順番で行くので、この2人に付きっきりというわけではないし、通訳さんが来ない日は、授業や学級活動の時に何をすればいいかが分からず困っていると思います。

そこで質問です。別府市では、このような外国から来た友だちが、言葉などで困らないようにする計画はありますか。教えてください。お願いします。

○議長（加藤美月さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

別府市教育委員会では、外国から来て言葉などで困っている別府市立の幼稚

園や小・中学生のために、通訳などをする支援員さんを学校へ派遣しています。支援員さんは1回に4時間、週に2回を基本として、約3カ月間学校に行っています。昨年度は1年間で19人の支援員さんを派遣し、今年度は6月30日現在で5人の支援員さんを派遣しています。

しかしながら、小関議員のおっしゃるとおり、外国から来たたくさんの方の幼稚園や小・中学生がいる中、いつも支援員さんを派遣することができず、必ずしも十分な対応ができていない状況とは言えません。

教育委員会としましては、外国から来た友だちが別府において、少しでも楽しく、そして大人になったらまた別府に来たいと思うような学校生活を送ることができるよう、更に協議を重ねていく必要があると考えております。

貴重な質問ありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 小関晃太郎議員のご質問にお答えいたします。

別府市は、一人一人の市民が多くの方の外国の人たちと文化や考え方を交流し共に生活する、国際観光温泉文化都市です。

外国の方々を含む多くの方々が別府を訪れたり、生活したりするうえで、充実した日々が送れるよう、支援については十分検討をしていく必要があると考えています。

小関議員の質問を受け、改めてそのように感じたのと同時に、自分のそばにいる外国から来た友だちについて、このような優しい心で接していることを知ってとても感動しています。きっとその友だちは、言葉は十分通じなくても、さぞうれしい気持ちだろうと思います。そのような心を持った人が別府で育ち、別府で生活し、別府を心豊かなまちにしてくれるのだと思います。

これからも外国から来た友だちと積極的に話したり、活動したりして、あたたかい仲間づくりをしていってください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 小関君。

○5番議員（小関晃太郎君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（高橋萌衣さん） 次に、12番議員、緑丘小学校の姫野聖大君の一般質問を

お願いいたします。

[12番議員 姫野聖大君、登壇]

○12番議員（姫野聖大君） ぼくの住んでいるこの別府は坂が多いと言われます。実際、ぼくの通学路もほとんどが坂で、学校からの帰り道は時間がかかって、とても大変です。公園などに行くときに、ぼくの友達は自転車を使っているのですが、自転車の交通ルールが変わって、左側通行になり、車道を通らなければならなくなりました。

ところが、別府の町は車道に自転車の走るスペースがない道も多いので、とても危ないです。大阪府などは、ちゃんと自転車専用道路があったので、自転車に乗っている人も多く、安全に走ることができました。

ぼくは、別府を安全で便利な町にするために、自転車専用道路を作った方がよいと思うのですが、そのような計画はありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（高橋萌衣さん） 建設部長。

○建設部長（岩田 弘君） お答えします。

現在、別府市内には自転車と歩行者が安全に通行できる自転車歩行車道と呼ばれるものがあります。国道10号や別府駅西側縦通り<sup>たて</sup>の市道別府駅前原線ほか2路線で、市道部分の延長は約3.5kmです。

昨年12月に道路交通法が改正されまして、姫野議員のおっしゃるとおり、自転車の交通ルールが変わり、自転車は原則車道を通ることとなりましたので、確かに自転車の通行を考えたときに危ないところもあると思っています。

ご質問の自転車専用道路については、坂の多い別府市の地形や、狭い道路<sup>せま</sup>が多いなどにより、整備する計画は今のところありませんが、現在、自転車も通行できるよう歩道整備工事を行っている道路があります。

自転車も通行できる歩道では、歩いている人に十分気をつけて通行していただいて、安全な通行に協力いただきたいと思います。

○副議長（高橋萌衣さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 姫野聖大議員のご質問にお答えいたします。

姫野議員からは、普段利用する自転車の交通安全という観点から別府市を安

全で便利な町にしたいとの思いをお聞きし、大変うれしく思います。私たちの住む別府を思う気持ちをこれからも大切にしてほしいと思います。

別府特有の道路事情もあり、自転車専用道路の設置計画には至っておりませんが、自転車通行の多い路線については、自転車も通行可能な歩道の整備を行ったり、危険性の高い狭<sup>せま</sup>い道路では車の運転者からも自転車や歩行者の安全を意識してもらえるような工夫をして、安全性を高める工事も行っております。

姫野議員の安全で便利な町にしたいというお気持ち、非常に大切だと思います。市の方もできるところから、少しずつでも取り組んでいきたいと考えていますので、皆さんも交通ルールをしっかりと守っていただきながら、安全な道路交通ができるようお願いしたいと考えています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 姫野君。

○12番議員（姫野聖大君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（高橋萌衣さん） 次に、2番議員、南小学校の藤本陽君の一般質問をお願いいたします。

[2番議員 藤本 陽君、登壇]

○2番議員（藤本 陽君） ぼくは今まで学校が少し苦手でした。だから、そんな気持ちを全校の誰にもしてほしくないと思い、児童会長になりました。今から南小児童会の取り組みを3つお話しします。

1つ目はスローガンの決定です。スローガンは、「笑顔と本気があふれる南っ子」になりました。みんなの心に響くものにすることが難しかったのですが、先輩が考えたスローガンから大切な言葉をヒントに自分たちの言葉にしていきました。仲間と本気で考えました。

2つ目はあいさつ運動です。毎朝7時45分から8時20分までやっています。最近、あいさつの声が明るくなり、地域の方からも声をかけていただくので、ぼくはとてもうれしいです。

3つ目は専門委員会との協力です。例えば体育委員長は、朝の50m走で本気を出すことで、みんなの笑顔や本気を引き出してくれています。

そこで質問です。別府市には別府市民憲章<sup>けんしょう</sup>というものがあり、「美しい町

をつくりましょう」「温泉を大切にしましょう」「お客さまをあたたかく迎えますしょう」の3つのスローガンがありますが、その別府市民憲章<sup>けんしょう</sup>を達成するためにどのような取り組みをしていますか。教えてください。お願いします。

○副議長（高橋萌衣さん） 企画部長。

○企画部長（釜堀秀樹君） お答えいたします。

藤本議員もご存じのとおり、別府市にはすばらしい市民憲章<sup>けんしょう</sup>があります。これは、昭和43年の1月1日に制定したものです。

これは、市役所の取り決めではなく、市民の皆さんひとりひとりが守っていきますと宣言したものです。もちろん別府市も市民憲章<sup>けんしょう</sup>を守っておりますので、市の取り組みについて説明をさせていただきます。

まず、美しいまちづくりについてですが、「景観条例」という市のルールを定め、雄大な自然や湯けむりの景観<sup>こわ</sup>を壊さないよう、ビルの建設や宅地開発を行うときは、樹木や花などを植えるよう定めるなど、市民の皆さんの協力をいただきながら、美しいまちづくりに努めています。

この他にも市民の皆さんと一緒に、全市一斉清掃や海岸海浜清掃などを定期的に行い、ごみのないまちづくりを目指しています。

2つ目の、温泉を大切にする取り組みとしては、市営温泉の維持管理を適切に行い、無駄のない温泉利用に努めています。

また「別府まるごとONSEN博物館」という取り組みにおいて、別府の温泉のすばらしさを市民の皆さんに伝え、温泉の恵みに感謝することで、限りある温泉資源を大切にしていましょ、と伝えています。

市役所以外でも、温泉の魅力を伝える活動を行っている市民の団体がいくつもあり、温泉を大切にしながら、温泉のファンを増やしてくれています。

3つ目のお客さまをあたたかく迎える取り組みですが、最近では別府の海の玄関口の「別府国際観光港」に外国の大型客船が寄港した際、市職員、市内の留学生、市民の皆さんが協力して、盛大なお出迎えをし、また、観光ガイドを行うなど、お客さまにおもてなしをしています。

これからも市民憲章<sup>けんしょう</sup>を大切にし、参加する市民の皆さんの笑顔や本気があふれるまちづくりに努めていきたいと思ひます。

○副議長（高橋萌衣さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 藤本陽議員のご質問にお答えします。

藤本議員の南小学校での児童会の活動は本当に素晴らしいと感心しました。

別府の美しい風景は訪れたお客様からもたくさんお褒<sup>ほ</sup>めの言葉をいただいています。別府市は、この素晴らしい湯けむりの景観を後世<sup>こうせい</sup>に残すため、鉄輪・明<sup>みょうばん</sup>礬地区を重点景観地区として、国に認めてもらうよう努力をしてきました。そして、平成24年9月に「別府の湯けむり・温泉地景観」として国の重要文化的景観に選定され、これにより、美しい景観を守りつつ、魅力ある地域づくりを進めることができるようになりました。

温泉についてはご存じのとおり、別府は温泉の湧出量、源泉数ともに日本一です。

現在、民間企業で、温泉を活用した発電に取り組んでいるところもあり、安全なエネルギーという温泉の新しい可能性にも注目が集まっていますが、こうした温泉の新しい価値や魅力を支援しつつ、限りある資源である温泉を後世<sup>こうせい</sup>まで残せるよう、大切に使用していきたいと思えます。

「観光客をあたたかく迎えましょう」という言葉は、別府温泉を日本や世界に売り込んだ偉大な先人「油屋熊八<sup>あぶらやくまはちおう</sup>扇」が大事にしていた精神「ホスピタリティ」そのものを表していると思えます。ホスピタリティとは「おもてなしの心」ですが、平成25年に創設された「油屋熊八<sup>あぶらやくまはち</sup>大学校」では、その精神を学び、多くの市民の皆さんに引き継がれています。

藤本議員も、学校の皆さんと力を合わせ、これからも様々な取り組みに頑張ってください。

貴重なご質問をありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 藤本君。

○2番議員（藤本 陽君） ありがとうございました。ぼくたちもスローガン達成に向けてがんばっていきたく思います。これで質問を終わります。

○副議長（高橋萌衣さん） 次に、9番議員、朝日小学校の秦史弥君の一般質問をお願いいたします。

[9番議員 秦 史弥君、登壇]

○9番議員（秦 史弥君） ぼくが住んでいる朝日小学校区には、お年寄りの方がたくさんいます。別府市にはどれくらいお年寄りが暮らしているのだろうと思い調べてみると、別府市の人口約12万人のうち、65歳以上の方が全体の30%の約3万6,000人もいることが分かりました。

別府の町には坂道が多く、子どものぼくたちには何でもない坂でも、お年寄りの方が歩いて移動するにはとてもきついだろうなと感じます。ぼくは、別府市がお年寄りにとって優しい町になるために何かできないかと考えました。

調べてみると、大分市内の65歳以上の人は、市内の一般路線バスを利用する場合100円で乗れるということがわかりました。別府市でも100円バスがあればお年寄りの方も助かるし、観光客にとっても便利だと思います。

そこで質問です。別府市内で100円バスを運行するという計画はありますか。また、お年寄りが暮らしやすいまちづくりの計画があれば教えてください。よろしくをお願いします。

○副議長（高橋萌衣さん） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（湊 博秋君） お答えいたします。

最初の100円バスの運行計画についてであります。その事業を実際に行うとなると、まず、別府市内にあるバス会社に協力していただくことが必要となります。

また、JRやタクシー会社などの他の公共機関の利用者にも影響がでると思われまので、それぞれの会社との十分な話し合いも必要となってきます。

さらには、100円バスを運行すれば料金が安いため、バス会社は必要な利益を確保することが困難になります。そうすると別府市からバス会社に補助金などを払って、100円バスを運行する支援をしなくてはなりません。

秦議員もご指摘<sup>してき</sup>のとおり、現在、大分市ではワンコインバスを運行していますが、大分市からバス会社に支払う補助金<sup>ふく</sup>が年々大きく膨らんできているという話<sup>うかが</sup>も伺っています。

これから、<sup>さら</sup>更に高齢者の人口は増える事が予想されていますので、各地域の交通状況や、別府市の財政状況など、様々な観点から総合的に判断していく必要があると考えています。

次に、2点目のお年寄りが暮らしやすいまちづくりの計画についてであります。今年1年をかけて別府市では平成27年度からの3年間の老人福祉計画と介護保険事業計画を策定してまいります。

この計画では、これからの更なる高齢化を見据え、介護予防への取り組みと共に、高齢者の方がたとえ介護状態になっても地域で安心して暮らしていただけるための環境整備に努めていきたいと考えています。

○副議長（高橋萌衣さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 秦史弥議員の質問にお答えします。

高齢者の方々が日常生活の買い物や通院などの交通手段を確保することは大事な問題と考えています。別府市の高齢者の方たちが外出しやすいまちづくりを工夫をこらしながらしっかりと検討をしてまいりたいと考えています。

秦議員の高齢者の皆さんを常に気にかかけ、大切に想う気持ち、本当に伝わってまいりました。そして大変嬉しく思います。私も、常にその気持ちを忘れずに高齢者の皆さんが、その地域に住んでよかったと思えるような、誰もが生き生きと暮らす街づくりを、これからもなお一層進めてまいりたいと考えています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 秦君。

○9番議員（秦 史弥君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（高橋萌衣さん） 次に、4番議員、青山小学校の木山倫太郎君の一般質問をお願いいたします。

[4番議員 木山倫太郎君、登壇]

○4番議員（木山倫太郎君） 別府は豊かな温泉や美しい景色のある町です。ぼくは、この別府のよさをたくさんの人に知ってほしいと思っています。そこで、別府の良さを生かした施設について考えました。

1つ目は、プールガーデンです。温泉を利用した流れるプールなどがあるプールガーデンを作れば、ぼくたち地元の子どものもうれしいし、観光客も来てくれると思います。

2つ目は、屋形船です。別府の夜景はとてもきれいなので、屋形船の上で大

分名物のとり天やしいたけ、かぼすなどを食べながら夜景を見れば観光客も別府の良さがわかると思います。

3つ目は、海辺のオープンテラスです。テーブルの下に足湯を作って、ゆったりとした気分で海と街の夜景が楽しめると思います。また、別府の花火がある日は、さらによいと思います。そこで質問です。観光客がたくさん別府にきてくれる施設をつくる計画はありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（高橋萌衣さん） ONSENツーリズム部長。

○ONSENツーリズム部長（大野光章君） お答えします。

1つ目の「プールガーデン」につきましては、北浜温泉テルマスに「屋外健康浴」という、水中運動を楽しめる<sup>よくそう</sup>浴槽がございますが、今回のご提案を参考に皆様に喜んでもらえるような形を目指して取り組んでまいりたいと思います。

2つ目の屋形船につきましては、別府のグルメを味わい、海から山へ向かって広がる夜景を眺めたら、別府をより気に入っていただけ、リピーターの獲得につながるのではないかと考えます。

3つ目の海辺のオープンテラスにつきましては、北浜温泉テルマスでは、デッキや<sup>よくそう</sup>浴槽から花火を見ることができますし、また別府海浜砂湯には、海の見える屋外の足湯がございます。

現在、市では新たな観光施設を建設する計画はございませんが、観光客の方がたくさん来てくれるよう、民間施設を含め情報発信などに努めたいと思います。

○副議長（高橋萌衣さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 木山倫太郎議員のご質問にお答えいたします。

豊かな温泉や美しい景色のある「別府のよさ」をたくさんの人に知ってほしいという木山議員の熱い気持ちと具体的な提案に<sup>かんめい</sup>大変感銘を受けました。

別府は温泉はもとより、日本夜景遺産に選ばれている夜景の観光スポットでもあります。ご提案を参考に今後も観光振興に向け取り組んでまいります。

最後に、別府の観光に対する木山議員の熱い気持ちをこれからも忘れずに持ち続けていただきたいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 木山君。

○4番議員（木山倫太郎君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○副議長（高橋萌衣さん） 次に、14番議員、東山小学校の田中愛梨さんの一般質問をお願いいたします。

[14番議員 田中愛梨さん、登壇]

○14番議員（田中愛梨さん） 私が通っている東山小学校では、地域合同運動会をしています。運動会では幼稚園児と小学生がお年寄りの方と一っしょに大玉転がしをします。お年寄りの方たちが楽しそうに大玉転がしをしているので私たちもうれしいです。他にも、冬には、しめ縄・門松<sup>かどまつ</sup>作りをしています。学校にお年寄りの方たちを招待して、幼稚園児と小学生は、しめ縄の作り方を教わります。中学生は、門松<sup>かどまつ</sup>を一っしょに作っています。お年寄りの方は、とてもやさしく教えてくれます。その日は給食も一っしょに食べます。

前に、いとこと話をしている時、よその小学校ではあまりお年寄りの方との交流がないと聞いたのでとてもびっくりしました。私はお年寄りの方とたくさん交流をしたら、大人になってもお年寄りにやさしく接することができると思っています。

別府市では、これから子どもたちとお年寄りの方との交流の機会を増やす計画はありますか。教えてください。お願いします。

○副議長（高橋萌衣さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

東山小学校での高齢者の方との交流のお話をいくつか聞く中で、子どもたちはもちろん高齢者の方も一緒になって楽しく活動していることを知り、大変うれしく思いました。

現在、別府市では「コミュニティ・スクール」という取り組みを始めています。「コミュニティ・スクール」は、学校の先生やおうちの方、地域の方が、学校のために共に知恵を出し合い、協力しながら、子どもたち皆さんの豊かな成長を支えていこうとするもので、地域の大人たちが、みんなで子育てをしていくという考え方です。

市内の他の学校でも「コミュニティ・スクール」が実施されるようになって

くと、田中議員が東山小学校で体験されているような高齢者との交流をはじめとして、学校生活のあらゆる場面で地域の方やおうちの方が関わってくださるようになります。

別府市では、今後、市内すべての学校で「コミュニティ・スクール」がスムーズに導入されるように努力していくとともに、多くの高齢者の方や地域の方に「コミュニティ・スクール」に参加していただけるように伝えていきたいと思っております。

○副議長（高橋萌衣さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 田中愛梨議員のご質問にお答えいたします。

東山小学校の運動会やしめ縄・門松<sup>かどまつ</sup>づくりのお話を聞いていると、田中議員が高齢者の方と楽しく過ごしている姿が目につかび、大変うれしい気持ちになりました。

先ほど教育長がお話しました「コミュニティ・スクール」は、別府市に住んでいる高齢者をはじめ、いろいろな方に学校に来ていただき、子どもたちが安心して楽しく勉強したり遊んだりできるようにお手伝いしてもらおう仕組みです。

とりわけ高齢者の方はたくさんの知識を持っていますので、ぜひ学校に来て、いろいろな遊びや勉強を教えてくださいたいと思います。子どもたちも楽しく学校生活を送ることができ、地域の方も明るく楽しくなり、「別府っていいな」と実感できるようになるとと思います。

田中議員には、これからも高齢者の方をはじめとする地域の方々と一緒にいろいろな学習や体験をしていただき、人に優しく接する気持ちを大切に持ち続けてほしいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（高橋萌衣さん） 田中さん。

○14番議員（田中愛梨さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（高橋萌衣さん） これをもって一般質問を終結いたします。

休憩いたします。

午後 3 時 29 分 休憩

午後 3 時 40 分 再開

○議長（加藤美月さん） 再開いたします。

日程第5により、提言を行います。提言者は4名です。提言順位により、提言を行います。

最初に、17番議員、北部中学校の西牟田奈菜美さんに提言の発表をお願いいたします。

[17番議員 西牟田奈菜美さん、登壇]

○17番議員（西牟田奈菜美さん） 私はポイ捨てのない町にするにはどうしたらよいかについて考えました。

まずポイ捨てをなくすためには、学校や地域で協力して呼びかけの声を広めていったり地域ごとのルールを作ったりすることで、1人ひとりが意識を持って活動していくことが大切ではないかと思います。

例えば土日を利用した地域清掃では、希望者を募るのではなく、担当者を決め、その地域に住んでいる人たちが順番にゴミ拾いを行う、というきまりを作るのはどうでしょうか。そうすれば1人にかかる負担が減ります。ゴミひとつない地域作りを自分たちですれば、自然とごみのポイ捨てをする人もいなくなるのではないかと思います。誰か1人が声を上げて一部の人が取り組む活動でなく、その地域、いえ別府に住んでいる住民全員が気軽に取り組めるような活動づくりでゴミのない町が実現していくと考えます。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 17番、西牟田奈菜美議員のご提言にお答えいたします。

西牟田議員のおっしゃるとおり、市内のいたるところでごみのポイ捨てがあり、対応に苦慮しているのが現状です。

別府市は、平成13年に観光都市としての美しい玄関口を確保するために、空き缶、吸い殻などの散乱防止と自転車の放置防止を目ざして「別府市地域環境美化条例」を作りました。毎年5月には「ポイ捨て禁止キャンペーン」として市の職員、こどもエコクラブの皆様、ボランティアの方々が一体となって、別府駅前を中心にゴミ拾いを行っています。

また6月には「全市一斉清掃」を、7月には「海岸海浜清掃」を実施し、市民の皆さんとともに、街の美化に取り組んでいます。散乱ごみの主な原因であ

る「ポイ捨て」をなくすためには、「自分のごみは責任を持って持ち帰る。」という、一人ひとりの意識の向上が必要です。

今後については、西牟田議員のご提言のように教育委員会や自治会に協力を仰ぎ、住民全員が「住んでよし、訪れてよし」の環境みらい都市の実現に向けて全市をあげて取り組んでいきたいと考えております。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 次に、19番議員、東山中学校の久木原萌花さんに提言の発表をお願いいたします。

[19番議員 久木原萌花さん、登壇]

○19番議員（久木原萌花さん） 現在、東山小中学校の体育館は使用することができません。今年の冬に降った大雪で、屋根を支える梁に<sup>はり</sup>ひびが入り、危険なので使用できない状態なのです。2月中旬から、私たちの生活は変わりました。体育館を使っていた体育の授業、部活動、行事などは全て校舎内の多目的ホールで行われています。私たちの入学式も多目的ホールでした。場所が狭いため、皆との距離も近く心温まる式でしたが、やはり体育館での入学式が良かったという思いもありました。

6月に体育館修理の予算について市議会で話があり、その後に修理が始まると聞いています。考える必要のある様々な問題がある中で、私たちの体育館について話し合いをしていただけることに感謝しています。

ただ、体育館が使えなくなって半年近くが経ってしまいました。東山小中学校の体育館は、地域の行事などで皆さんが集まる大切な場所でもあります。今までどおり体育館が使えるようになることを、私たちだけではなく地域の方もとても心待ちにしています。今回のような思わぬ災害に対して、素早く対応できるシステムが必要ではないかと思えます。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 19番、久木原萌花議員のご提言にお答えいたします。

2月の大雪による被害で、東山小中学校の体育館が使えなくなりました。久木原議員をはじめ、幼稚園、小学校、中学校の皆さんや地元の皆さんには、大変ご不便をおかけしており、当分の間、使用できないことに対して申し訳なく

思っております。

体育の授業や卒業式、入学式などは多目的ホールで行い、地域の方のスポーツ行事などはおじかの体育館を使用していると聞いています。体育館が使えない中で、児童生徒の皆さんや地域の方々が工夫して対応していただいております。本当に感謝しています。

体育館については、8月から改修工事に入る予定です。

ご提言いただいた素早く対応できるシステムについては、この体育館改修の件を検証しながら、考えていきたいと思っております。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 次に、16番議員、山の手中学校の山川雅さんに提言の発表をお願いいたします。

[16番議員 山川雅さん、登壇]

○16番議員（山川雅さん） 今、私の住む町では、ご近所の方々ととてもよい関係が築かれています。お互いに挨拶をし合い、いろいろな情報交換が行われています。私たちはそのおかげで、近くに見守ってくださる方がいるのだと安心できます。幸いなことに空き巣狙いや人的被害等の犯罪ありませんので、あらためて「ご近所の方々との交流は大切だな」と思います。そのようなよい関係を構築<sup>こうちく</sup>するためには、住民の心構えや努力も必要ですが、何らかの「きっかけづくり」が必要だと考えます。

その「きっかけ」の1つは、市内各地区でのお祭りや運動会などの行事を実施し、そこに集<sup>つど</sup>う各世代のご近所同士の交流機会を増やすことです。活動体験を共有することで、地域の方々の仲間意識や結びつきが強まると思います。どの地域もお祭りや運動会をはじめとする諸行事は行われていると聞いていますが、開催への金銭面や場所の確保、主催側の人材確保などの課題もあり、地域を活性化する活動や行事が減ってきているように感じています。

「心のつながりや絆<sup>きずな</sup>結び」が求められている現在、地域の人々の参加意識も高まる魅力あるスポーツ・文化・芸術活動などのイベントや行事の増加に取り組む必要があると思っております。そのために市が財政面や参加機会の確保の支援、人材育成の研修会などの機会を増やしていくのはどうでしょうか。ご近所同士

が今以上にあたたかく深く緊密につながる「<sup>そうい</sup>創意工夫されたきっかけづくりや仕掛け」を願っています。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 16番、山川雅議員のご提言にお答えします。

本市では、普段から私が唱えております「住んでよし 訪れてよしのまちづくり」を<sup>じっせん</sup>実践するためには、まず、ご近所同士の「<sup>きずな</sup>絆」が大事であると考えております。

山川議員のお住まいの地域ではとても良い関係が築かれているとのことで、市長としても大変うれしく思っております。

とはいえ、別府市でも少子化・高齢化は進んでおり、地域での活動も今までどおり行うことが難しくなっているという状況に心配しています。

地域の代表の方々からいろんなご意見を頂きながら、別府市としても効果的な方法を検討していきたいと思えます。

山川議員の「地域の<sup>きずな</sup>絆が大切」と思うその気持ちをずっと持ち続けていたいただきたいと思えます。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 次に、18番議員、浜脇中学校の福山美羽さんに提言の発表をお願いいたします。

[18番議員 福山美羽さん、登壇]

○18番議員（福山美羽さん） 私は、みんながより過ごしやすい学校環境にするために、教室に冷房をつけることが必要だと思います。昨年の夏はとても気温が高く、4月と比べると授業に集中できなかつたり、体調を崩し保健室に行く人が多くいました。教室に冷房をつけ、少しでも室温を下げることで、みんなが学習しやすい環境になり、熱中症になる危険性も低くなると思えます。

しかし、全ての学校、学級に冷房をつけると電気代がたくさんかかってしまいます。そこで全ての学級につけるのではなく、まず各学校に一部屋ずつ冷房を設置し、その部屋で授業を受けられるようにするところからはじめてはどうでしょうか。

○議長（加藤美月さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 18番、福山美羽議員のご提言にお答えいたします。

福山議員のおっしゃるとおり、昨今の夏の異常気象は驚くばかりで、皆さんもこの時期には、熱中症にならないように、水分補給など心がけていることと思います。

現在、各学校には、校長室、事務室、保健室、図書室、コンピューター室などにエアコンを設置しております。児童生徒の皆さんには、よりよい環境で学習して欲しい気持ちは私たちの願いでもあります。

ご提言いただきました一部屋ずつの設置につきましては、今後考えていきたいと思っています。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（加藤美月さん） 以上で、提言の発表を終結いたします。

次に、日程第6「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言」を上程いたします。

提出者の21番議員、朝日中学校の中村美奈さんから、提案理由の説明をお願いいたします。

[21番議員 中村美奈さん、登壇]

○21番議員（中村美奈さん） 子ども議員提出議案第1号は、お手元に配付しております宣言書を読み上げて、提案理由の説明にかえさせていただきます。

「<sup>ほこ</sup>誇れるふるさと別府を私たちで」

子ども宣言

別府には世界に類を見ない、別府八湯と呼ばれる豊かな温泉資源があります。私は春休みに、その一つであり市長さんの地元でもある鉄輪を巡る機会がありました。毎日浸かっている身近な温泉について、観光資源という側面だけでなく、歴史的な価値、エネルギーとしての活用、蒸し湯などの癒しの<sup>いや</sup>効能も知ることができました。

別府市制90周年というこの節目の年に、温泉という宝を世界中にアピールし、住む人に優しく、訪れた人にも温かい街づくりを目指し、次のことを<sup>ちか</sup>誓います。

1 この別府をいつまでも美しいふるさととするために、ゴミの分別、リサイクルなど小さなことから積極的に取り組んでいきます。

2 別府に来られた世界中の人々が、性別・年齢・人種・宗教に関係なく、すべての命を尊重し、互いに認め合いながら、温かい毎日を送っていくことを目指して、輝く笑顔と明るいあいさつを交わしあいます。

以上のことを宣言いたします。

平成26年7月25日

べっぷ子ども市議会

なにとぞ、子ども議員、皆様のご賛同をよろしくお願い申し上げます。

○議長（加藤美月さん） 以上で、提案理由の説明は終わりました。

これより、採決を行います。

お諮り<sup>はか</sup>いたします。

ただいま提案されました「子ども議員提出議案第1号」については、原案のとおり決することに、賛成の皆様のご起立をお願いいたします。

[賛成者起立]

○議長（加藤美月さん） 起立全員です。

よって、「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」は、全員一致をもって原案のとおり可決されました。

ご着席ください。

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。

お諮り<sup>はか</sup>いたします。

第12回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（加藤美月さん） ご異議なしと認めます。

よって、以上で第12回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後4時00分 閉会

## [閉 会 式]

○市議会事務局（穴井寛子君） 皆さまお疲れさまでした。

それでは、議長、副議長は議員席へお戻りください。

ただいまから、第12回「べっぷ子ども市議会」の閉会式を行います。

浜田博市長より、ごあいさつを申し上げます。

○別府市長（浜田 博君） 皆さん、きょうは本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

緊張をといて、肩の荷をおろしてください。小学生と中学生による「べっぷ子ども市議会」、ことしで12回目となり、すっかり定着して恒例こうれいとなりました。

一般質問では、皆さんの身の回りの問題である、福祉問題、環境問題、観光問題、教育の問題、そしてまちづくりの問題、そういった全ての行政分野に及んだ観察力の鋭い質問をいただきました。皆さんのふるさと別府を想う心温まる質問や貴重な質問ばかりでした。本当にありがとうございました。

そして、中学生の皆さんからいただいた提言、どれもすばらしいものでした。皆さんが住む別府をよくしたい、そして、安心して過ごせるまちにしたいという別府への想い、本当に感動しました。

そして、別府市の発展に向けて、皆さんの心のこもった「誇れるふるさと別府を私たちで」という宣言をいただきました。この宣言を実現できるように、私たちみんなが頑張っていかなければならないと思っております。

きょう、「べっぷ子ども市議会」に出席した貴重な体験を、これからの勉学に生かしていただいて、ひとまわりも、ふたまわりも、大きくなってほしいなと思います。皆さんの成長を、心から期待しております。

ここで一つ報告をさせていただきたいと思います。成人式がありました。その成人式ですね、ある20歳になった成人者から、「市長お久しぶりです」とあいさつをいただきました。「えっ」と驚いたのですが、その方が言うには、「8年前に、小学校6年生の時に、子ども市議会に参加して市長に質問をしました。」というお話をしてくれました。とても嬉しかったです。ふるさと別府が大好きです、これからも別府のためにしっかり頑張りますという思いを伝えてくれたときに感動しまし

た。

まさにきょうの体験、議長のお話にもありましたが、皆さんこれから大人になっていく中で、いろんな体験をするでしょうけど、きょうの体験が貴重なステップになるだろうと思っています。自身と誇りを持って、別府っ子としてすばらしい成長をしていただくことを心から期待したいと思っています。そしてどこかで私どもに会うことがあったら、気軽に声を掛けてください。よろしく願いいたします。

終わりにになりましたが、第12回「べっぷ子ども市議会」の開催に大変なご尽力をいただきました別府市子ども会育成会連合会、別府市PTA連合会の皆さま方、保護者の方々、学校の先生方、そして、別府市議会子ども会を支える議員連盟の皆さま方に、心から感謝を申し上げます。

きょうは、本当にありがとうございました。

○市議会事務局（穴井寛子君） 続きまして、寺岡悌二教育長より、本日ががんばっていただきました子ども議員の皆さん方に、記念品を贈呈いたします。

代表 鶴見台中学校 安部 瑛士 君。

[20番議員 安部瑛士君、議場中央フロアに立つ]

○教育長（寺岡悌二君） お疲れ様でした。人を大事に、そして自分の目標に向かって挑戦し、しっかり頑張ってください。お疲れさまでした。

[教育長より記念品贈呈]

○市議会事務局（穴井寛子君） ここで、子ども議員を代表して、安部瑛士君からお礼の言葉があります。

子ども議員、執行部並びに主催者の方は、ご起立願います。

[全 員 起 立]

○子ども議員代表（安部瑛士君） きょうは、私たちの質問に対し、分かりやすく、ていねいにお答えいただきありがとうございました。

たくさんの方の別府に対する意見を聞くことができ、どのようなことをすれば、さらによりよいまちになるか、あらためて考えさせられました。

別府市は温泉はもちろんのこと、豊かな自然にも恵まれ、全国的に見ても有名なまちです。このようなまちで育ったことを誇りに思います。これからさらによりよいまちにするために、ポイ捨てがないきれいなまちづくりや、地域の方々とのあい

さつなど、自分たちのできることから頑張っていこうと思いました。また将来、別府市民の一員としてこのまちに少しでも貢献できるよう、勉強も頑張っていきたいです。

最後になりましたが、この「べっぷ子ども市議会」をもってくださった、浜田博別府市長はじめ、関係者の方々に心からお礼申し上げます。きょうは本当にありがとうございました。（拍手）

○市議会事務局（穴井寛子君） それでは、皆さまご着席ください。

[全 員 着 席]

○市議会事務局（穴井寛子君） 以上をもちまして、第12回「べっぷ子ども市議会」閉会式を終了いたします。



# 「誇れるふるさと別府を私たちで」 子ども宣言

別府には世界に類を見ない、別府八湯と呼ばれる豊かな温泉資源があります。私は春休みに、その一つであり市長さんの地元でもある鉄輪を巡る機会がありました。毎日浸かっている身近な温泉について、観光資源という側面だけでなく、歴史的な価値、エネルギーとしての活用、蒸し湯などの癒しの効能も知ることができました。

別府市制90周年というこの節目の年に、温泉という宝を世界中にアピールし、住む人に優しく、訪れた人にも温かい街づくりを目指し、次のことを誓います。

## 記

- 1 この別府をいつまでも美しいふるさととするために、ゴミの分別、リサイクルなど小さなことから積極的に取り組んでいきます。
- 2 別府に来られた世界中の人々が、性別・年齢・人種・宗教に関係なく、すべての命を尊重し、互いに認め合いながら、温かい毎日を送っていくことを目指して、輝く笑顔と明るいあいさつを交わしあいます。

以上のことを宣言いたします。

平成26年7月25日

べっぴん子ども市議会

この会議録の内容が間違いないことを確認し  
署名します。

平成26年7月25日

べっぷ子ども市議会

議長

加藤 美月

副議長

高橋 萌衣

会議録署名議員

高瀬 真美子

会議録署名議員

丸井 彩夏



別府市議会子ども会を  
支える議員連盟 会長  
**首藤 正**



別府市議会子ども会を  
支える議員連盟 副会長  
**永井 正**

第12回「べっぷ子ども市議会」の開催にあたり、ご尽力いただきました各小中学校の先生方をはじめ、別府市PTA連合会、別府市子ども会育成会連合会の皆様にまずもって心より感謝申し上げます。

今から、20年、30年前の子ども会活動は非常に活発でありました。

子どもたちは、その小さな社会の一員として、年齢に応じた役割を担うとともに上級生が下級生を導いていたことが思い出されます。

少子化により、またITの普及により子どもたちの触れ合いが、少なくなったのではと感じております。

これからも、皆さんが、今回の子ども市議会での経験を大切にして、どうしたらもっと住みよいまちになるのかを考えていただければ、きっと素晴らしい別府になることと思います。

結びになりましたが、ご家族、地域の皆さん、先生方、市P連の皆さん、そして市子連の皆さんには、別府の子どもたちへの、なお一層の温かいご指導とご支援をお願いいたします。



別府市教育長

**寺岡 悌二**

子ども議員のみなさんからの質問や提言は、身近な生活から別府市全体に関わることまで幅広いもので、たいへん興味深く感じました。

また、疑問や困っていることに対して、まず、自分で調べ、どうすればよいかを考え、行動しようとする姿勢に感心しました。多様な価値観や情報にあふれる今の時代において、自分で課題を見つけ、事実をもとに自分の考えを持ち、根拠をはっきりさせて伝えるという力はとても大切なものであり、将来の別府を担う子どもとしてたいへん頼もしく思いました。この機会に学んだことや子ども宣言で決意したことを各学校に持ち帰り、実践していくことを心から期待しています。

教育委員会といたしましても、子どもたちの願いが生かされ、より充実した教育が行われるよう、今後も鋭意努力してまいります。



別府市子ども会  
育成会連合会 会長

## 池 辺 栄 浩

今年も凛々しい23名の各小中学校を代表した子ども市議会議員の皆さんのおかげで無事に終えることができました。

また、12回目を迎えたこの子ども市議会が別府市独自の教育文化のイベントとして根付いたことにも感動とともに嬉しきで一杯です。

今回の質問・提言のなかで特に印象に残ったのは、①観光都市としてあるべき環境整備、②留学生や外国から来別しているお友達に対する心やさしい気持ち、③地域との関わりなど、ふるさと別府に対しての子ども目線で純真なものばかりでした。子ども議員の皆さんの熱い思いを感じました。

一生に一度のこの体験が今後の人生の糧となり、チャレンジ精神が必ず育まれることになるでしょう。そして将来の別府を担っていく人になることを期待しています。

最後になりましたが、ご尽力頂いた関係各位に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



別府市PTA連合会 副会長

## 古 庄 由 紀

子どもたちが、これからの人生を生きていく上で、体験に勝るものはありません。

子ども議員として市議会で質問や提言をすることにより、身近な「なぜ？」に始まり、自分の身の回りの困っている人や事柄に関心を持ち、そこからさらには別府市をもっと良くしたいという強い気持ちが芽生えたことでしょう。

この貴重な体験が、「別府っ子」としての誇りと共に彼らの人生の中のどこかで生きたものとして花開く時が来ることを願っております。

私たち別府市PTA連合会は、微力ではありますが、今後も子どもたちが屈託のない笑顔で毎日を過ごせますよう力を尽くしてまいります。

このような、素晴らしい取り組みを続けていただいておりますことを、心から感謝申し上げます。